

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年 1月22日

協議会名: 宮城県地域路線バス等対策連絡協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス	No.1 白石遠刈田線 (白石蔵王駅～宮城蔵王ロイヤルホテル)	曲竹に上屋を設置して待合の快適性を向上した	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	ダイヤの精査による通勤通学利用者の利便性の向上。
(株)ミヤコーバス	No.2 川崎線 (大河原駅前～川崎)	大河原駅での列車接続については、車両運用の繋がりにから、改善はできなかったが、大きな問題は起きていない。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	ダイヤの精査による通勤通学利用者の利便性の向上。
(株)ミヤコーバス	No.3 川崎線 (大河原駅前～村田営業所)	大河原駅での列車接続については、車両運用の繋がりにから、改善はできなかったが、大きな問題は起きていない。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	ダイヤの精査による通勤通学利用者の利便性の向上。
(株)ミヤコーバス	No.4 利府線 (塩釜営業所～しらかし台)	利府駅での接続改善は、ダイヤ改正時の実施に向けた検討中である。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	運転士不足により、減便が避けられない情勢となっており、早期に旧に復するよう努める。
(株)ミヤコーバス	No.5 汐見台線 (多賀城駅前～菖蒲田)	H26年度新規路線	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	運転士不足により、減便が避けられない情勢となっており、早期に旧に復するよう努める。
(株)ミヤコーバス	No.6 吉岡線 (地下鉄泉中央駅～道下)	H26年度新規路線	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	運転士不足により、減便が避けられない情勢となっており、早期に旧に復するよう努める。
(株)ミヤコーバス	No.7 色麻線 (古川駅前～色麻町役場)	大崎市民病院の移転開院に合わせて、病院経由の新系統を開設した。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	大崎市民病院の利用実績による便の見直しを行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス	No.8 石巻免許センター線 (石巻駅前～石巻駅前)	法務局前の停留所新設を行ったが、引き続き復興事業による土地区画整理の進捗を見守っている状況である。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	蛇田地区の復興団地造成による経路変更の研究を行う。
(株)ミヤコーバス	No.9 河南線 (石巻営業所～河南総合支所)	復興事業による土地区画整理の進捗を見守っている状況である。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	蛇田地区の復興団地造成による経路変更の研究を行うとともに、人口が増えているしらさぎ台の停留所増設を行う。
(株)ミヤコーバス	No.10 石巻専修大線 (石巻駅前～飯野川)	JR列車接続の改正を行った。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	石巻専修大学やJR列車時刻との兼ね合いから、利便性の高いダイヤになるよう更なる研究が必要。
(株)ミヤコーバス	No.11 三陸線 (石巻駅前～飯野川)	経由地点が多すぎるという苦情もあるが、整理することも難しく、当面現状維持という結論に至った。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	経路についての更なる調査検討が必要。
(株)ミヤコーバス	No.12 鮎川線 (石巻駅前～鮎川港)	渡波地内の被災状況に鑑み、下り便を国道経由として上下同じとし、分かりやすい運行経路とした。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	牡鹿半島と石巻中心部を結ぶ唯一の公共交通であり、復興状況をみながら、路線の維持について検討する必要がある。
(株)ミヤコーバス	No.13 女川線 (石巻駅前～女川運動公園)	女川町内の復興事業による沿線状況の変化を注視している。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	女川町内の復興事業と連携した経路見直しを引き続き検討してゆく。
(株)ミヤコーバス	No.14 三陸線 (津谷営業所～河原田)	BRTとの棲み分けについての検討は今後の着手となる。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	BRTはほぼ最終形となったので、当社バスとの整合性を精査する必要がある。
(株)ミヤコーバス	No.15 御崎線 (市立病院前～御崎)	沿線復興状況により対処をするが、本年度内は特段の変更の必要は生じなかった。	A 計画どおり適切に実施された	A 計画どおり目標を達成した	唐桑半島各集落及び気仙沼市内の復興状況を注視している。
東北アクセス(株)	No.16 仙台南相馬線 (仙台～南相馬)	ダイヤ改正等を図り利便性の向上に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	山元町の利用者のサービスの向上を検討したい。

事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成27年 1月22日

協議会名:	宮城県地域路線バス等対策連絡協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none">・少子高齢化等によりバス利用者は減少しているが、自家用自動車等の移動手段のない住民にとって、バスは必要不可欠である。・利用者の低迷により、バス事業者の自助努力のみで路線を維持することが困難であることから、公的支援が必要不可欠である。・特に東日本大震災により被害の大きかった沿岸地域においては、利用者等からの要望等の把握に努め、復旧・復興状況により、経路や運行ダイヤの見直しを行い利便性の向上に努める。